

今回は高齢者や子育て中の市民がもっと住みやすい新潟市を目指して、他都市の事例を視察してきました。

市民厚生常任委員会 行政視察



出産・子育て支援・高齢者支援を柱とし、子どもから高齢者までが共に集う施設について

助産院、小規模保育所、地域の子育て支援の場の提供、高齢者のデイサービスとしての機能を備え、それぞれが連携しながら活動に取り組む、全国でも極めて珍しい施設の



見学に行ってきました。スタッフは全員が保育や助産師の資格を持ち、子育ての悩みを相談できる体制が整っています。核家族化や少子化に伴い、地域でのつながりや世代間の分離が問題視されている中、赤ちゃんからお年寄りまで異世代間交流を行いながら支援を行う取り組みや、「助産師」という専門性を活かした活動を、本市でも実現できるよう議会で政策提言していきます。

【NPO法人 いのちの応援舎】

香川県高松市



「まちなか防災空地」の取り組みについて神戸市へ



“燃え広がりにくいまちづくり”を推進し防災空地の整備を行っている神戸市の取り組みについて学ばせて頂きました。老朽建物を解体した跡地や建築予定のない空き地等を、



市が無償(固定資産税の非課税化)で借り受け、創出された空地は火災時の延焼を防止するスペースの確保や、災害時の一時避難場所として活用するだけでなく、平常時は子どもたちの遊びの場等、地域のコミュニティの場としても利用されています。増え続ける本市の空き家問題の対策へ事例を参考に取り組みを進めて参ります。

【神戸市役所】

兵庫県神戸市

●所属委員会 市民厚生常任委員会、観光交流促進調査特別委員会
●所属会派 民主にいがた 電話025-226-3476

高橋聡子事務所

951-8151 新潟市中央区浜浦町1-63コーパマ101号室
電話 025-378-3158 FAX 025-378-3281 E-mai satoko_takahashi25@yahoo.co.jp

新潟市議会議員

高橋 さとこ 議会活動レポート

- ◎ご挨拶
- ◎議会報告
- ◎視察報告



VOL. 1

SATOKO PRESS

ご挨拶

令和元年6月定例会におきまして、初の一般質問の機会をいただき、新人議員のなかで先陣を切って登壇いたしました。

市民の皆様の声や感じた疑問や、現在の新潟市の諸課題について、市長ならびに執行部と議論を行った質問と答弁要旨について報告いたします。

今後も財政健全化を図りながら、人口減少や少子・超高齢化に対応した持続可能なまちづくりを目指していくため、皆様よりご意見ご要望を賜りますよう、お願い申し上げます。



新潟市議会議員

高橋 聡子

2019年6月13日から7月3日まで令和元年1回目の新潟市定例議会が開催されました。今議会では4つの項目について一般質問を行いました。

令和元年
定例議会

2019年6月 新潟市議会 定例議会一般質問通告



1 西海岸公園の拡大する松くい虫被害について

- (1) 松林の現状について
- (2) 今後どう対応をとっていくのか
- (3) 枯れ木伐採後の状況が景観としてどうか

2 ギャンブル依存症を防ぐための取り組みについて

- (1) ギャンブル依存症の取り組みについて
- (2) 職員の専門性の確保について
- (3) 関係機関、民間団体との連携について
- (4) 自殺との関連性について
- (5) 予防教育について

3 町なかにおけるトイレの設置について

- (1) 古町地区におけるトイレの現状について
- (2) 商店街との連携について

4 活力ある新潟市実現に向けた新駅の設置について

- (1) 新駅需要予測調査結果と調査結果を踏まえた市の方向性について
- (2) 新駅設置がもたらす効果
- (3) 上所駅整備への工程と課題について
- (4) 上所駅の整備費について

質問答弁要旨

令和元年新潟市議会定例会が、6月13日から7月3日まで開催されました。以下質問答弁要旨報告します。



西海岸公園の拡大する松くい虫被害について

問 松林の現状について

防風防砂の役割を果たし、憩いの場としても重要な松林。近年松くい虫による松枯れ被害が急速に広がっているが、市は駆除が追い付かない状況。西海岸公園の背後には住宅地が密集している為、今後の対応について。また壊滅的被害となれば莫大な費用がかかることから、経済的損失を最小限に抑え、森林を残していく事が私たちの次の世代のための責務と考えるが、見解を伺う。

市長 答弁 松くい虫被害は、平成24年に3本の被害の松を確認したことから始まり、その後、被害は増え続け、昨年度は623本の被害木を確認した。このまま被害が拡大すると、保安林としての機能の低下が懸念される。護国神社や青陵大学、地元自治会など地域とこれまで以上に連携を強化し対応していく。



問

現在伐採後、燻蒸がおこなわれている処理木や年月が経過したものも含めその場で山積みとなっている。枯れ木伐採後の状況が景観としてどうか。

中央区長 答弁 今後は、丸太積の処分方法や、伐採後の更地になった箇所への植栽など、公園利用者が快適に歩き、寛げる空間になるよう検討していく。

町なかにおけるトイレの設置について

問 古町地区におけるトイレの現状、商店街との連携について

外出時、誰もがトイレに困った経験があると思うが、高齢者や子育て中のパパママ、障がいを持たれた方の場合にはなおさらトイレの数や男女別になっているか不安要素となる。また祭りや花火大会などの地域のイベント時や、あるいは災害時に起きるのが、トイレがどこにあるのかわからない・足りないといった「トイレ問題」に対し、他都市では商店街でトイレマップを作り、情報を発信している。商店街との連携の可能性について見解を伺う。

中央区長 答弁 古町地区周辺には、公園内のトイレも含め公衆トイレが、13箇所設置されており、このうち男女共用のトイレは2箇所。このほかにも、公共施設があり、開館時間内はご利用いただける。なお、市では現在、西堀ローサ内に授乳やおむつ交換の機能を備えた新たな公衆トイレの設置を検討しているほか、来年春

には、旧大和跡地への市役所機能の一部移転により、利用可能なトイレが増える予定。また、トイレの利用に関する商店街との連携については、店舗により設置の状況が異なるなど課題もあることから、他都市の状況も参考にしながら、今後も、商店街関係者との意見交換をしていく。

問

ここ近年は多様性が求められるようになってきている。性的マイノリティの方にも配慮が必要と思われるが、対応について伺う。



中央区長 答弁 性的マイノリティの方がトイレを気兼ねなく使えることは大切なことと考える。H29年の中央区役所移転の際に、性別や性的嗜好に関わらずどなたでも利用いただけるよう、「みんなのトイレ」を設置した。今後の中央区におけるトイレ整備にあたって可能な限り同様の対応をとっていきたいと考える。

「活力ある新潟市」実現に向けた新駅の設置について

問 新駅需要予測調査結果と調査結果を踏まえた市の方向性は

昨年12月議会で、「新駅設置による新たな需要の把握と採算性の調査とあわせて、JRとの協議を進め、年度内を目途に一定の方向性を見出したい」と答弁されているが、その後の調査結果と結果を踏まえた市の方向性について所見を伺う。

都市政策部長 答弁 現時点での試算では、1日当たりの利用者数は、(仮称)上所駅では約2,300人と想定したなか、市としては事業の採算性があるものと見込んだところ。今年度、現地測量を行った上で、新駅及びその周辺施設の基本計画を策定する。

問 新駅設置がもたらす効果、整備費について

設置に伴い、駅周辺地区の利便性向上、マイカーから公共交通への転換など交通施策上有効であるほか、中心市街地の拠点機能が強化され、交流人口、雇用人口、定住人口の増加などに寄与すると考える。また設置後のランニングコストはJR東日本の負担になることから本市が設置費用の多くを負担したとしても投資効果が高いと考えるが見解を伺う。

都市政策部長 答弁 新駅設置と周辺のまちづくりが一体的に進むことで、都市機能や居住機能の充実が図られ、交通環境の向上による公共交通への転換や、雇用創出など、新駅設置がもたらす効果が期待される。整備の行程や工費については、今年度に取り組み基本計画策定のなかで、JRの技術的支援を受けながら、新駅設置の投資効果を見極めていく。

ギャンブル依存症を防ぐための取り組みについて

問 予防教育の必要性和学校現場での現段階の取り組みについて

成人年齢を18歳以上に改めるに当たり、ギャンブルの解禁年齢引き下げの動きがあるが、ギャンブルは年齢が若いうちに始めると、依存症になるリスクが高まる事が知られている。非行や犯罪と言った社会問題のリスクを高め、学校現場に混乱をもたらす事につながる恐れがある為、学校現場での早期発達段階からのギャンブル依存症に対する啓発と教育の重要性について見解を伺う。

教育長 答弁 学校において行動嗜癖に関する指導を行うことが大切であることから、本市では、本年4月10日付で市立の全学校に資料を送付し関係職員に対する周知と活用を依頼した。今後は、養護教諭を対象とした研修等で、ギャンブル依存症の内容を取り上げ、周知・啓発していく。

一般質問の様子は新潟市議会 HPの録画中継で、一般質問全文は会議録(9月中旬掲載予定)でご覧いただけます。

新潟市議会 HP <https://www.city.niigata.lg.jp/shigikai/index.html>